

第562回

I B C 番組審議会 議事録

— 議題 —

① テレビ番組

「おめでとう！

平泉～世界のHIRAIZUMI～」

② 「放送番組の種別の基準」について

平成23年7月13日（水）

㈱ I B C 岩手放送

第562回IBC番組審議会

1. 開催日時 平成23年7月13日(水)午前11時
2. 開催場所 デジタルセンター3F Dホール
3. 委員の出席
- | | |
|---------|-------------|
| 委員総数 | 10名 |
| 出席委員 | 7名 |
| 出席委員の氏名 | |
| 委員長 | 田代 高章 |
| 副委員長 | 熊谷志衣子 |
| 委員 | 大村友貴美 小笠原 裕 |
| | 工藤 和彦 杉本 博 |
| | 矢佐 俊幸 |
| 欠席委員の氏名 | 小松 務 澤口たまみ |
| | 加藤 正幸 |
- 会社側出席
- | | |
|-------|---------------|
| 鎌田 英樹 | 代表取締役社長 |
| 川上 隆 | 常務取締役 |
| 熊谷 鉄郎 | 取締役放送本部長 |
| 武田 敏哉 | 報道局長 |
| 中村 好子 | テレビ制作部プロデューサー |
| 角掛 勝志 | テレビ編成部副部長 |
- 事務局
- | | |
|-------|-----------|
| 中島 勝志 | 番組審議会事務局長 |
| 小笠原 勉 | 事務局 |
4. 議題① 審議番組
「おめでとう！平泉～世界のHIRAIZUMI～」
- ② 「放送番組の種別の基準について」

5. 議事概要

<委員の主な発言>

- 一度残念な結果になったが、今回の番組をとおして関係する皆さんがくじけずに頑張ってきた姿を見られて良かった。

 - 瀬戸内寂聴さんは東日本大震災のことに触れ、合わせたように登録が決まった事は、被災された方々にも力強い、希望が見えることだと言われていたが、その通りだと思った。

 - フランス取材の臨場感も、映像をとおして伝わってきた。一番気にいったのは、エンディングの朝靄がかかった町が出てきたシーンで、印象に残っている。

 - 藤原氏の勢力範囲は白河の関から青森まで、と表現していたが当時青森という地名はなく、様々な文書の中にも白河の関から外ヶ浜まで、と表記されている。番組の中でも、外ヶ浜という地名で現在の青森市の周辺にあたる、と表現して欲しかった。

 - 映像が美しかった。特に印象的だったのが、暗い画面から扉が開いて金色堂が現れるところで、とてもいい展開の仕方だと感心した。雪の金色堂、紅葉の金色堂の景色も本当にきれいなので、世界中の人が見にきてくれればよいと思った。パリの人たちに平泉をどのくらい知っているか聞いてみても良かったのではないか。

 - 過去に登録延期ということもあったが、東日本大震災の直後ということもあり、今の時期だからこそ登録されたことに意味がある。瀬戸内寂聴さんの話も印象深く、いい番組だったと思う。
- <放送法の改正に伴い「放送番組の種別の公表制度」が導入されるにあたり、放送番組を「報道」「教育」「教養」「娯楽」「その他（通信販売・その他）」の種別に分類する、IBCが定めた「放送番組の種別の基準」が番組審議会に諮問され、原案どおり適切であるとの答申を受けた。>

放送番組の種別の基準

種別	種別の基準	
報道	社会にとって重要なあるいは関心のある時事的な出来事や動きを報じる番組。	
教育	知見を広め、情操を豊かにし、倫理性を高め、かつ生活の向上を意図した番組であって、学校教育又は社会教育に資することを意図した番組。	
教養	知見を広め、情操を豊かにし、倫理性を高め、かつ生活の向上を意図した番組。ただし、教育に属するものを除く。	
娯楽	スポーツ、音楽を含め、生活を明るく、楽しく豊かにすることを意図した番組。	
その他	通信販売	商品又はサービスの通信販売を目的とした番組。
	その他	上記のいずれにも属さないもの。

2011年7月

IBC岩手放送